

QR Newsletter



第四紀通信

Vol. 20 No.1, 2013



埼玉のピラミッド？行田市稲荷山古墳
前方後円墳の後円部より、「辛亥年」（471年）、「ワカタケル大王」（雄略天皇）等の銘文のある鉄剣が出土した。（2012年11月10日 彩の国さいたまの自然を楽しむ野外見学会）

Vol. 20 No. 1

February 1, 2013

2013年大会案内・・・・・・・・・・	2	第四紀学会巡検・・・・・・・・・・	6
2012年学会賞受賞者講演会.....	2	アウトリーチ・・・・・・・・・・	7
日本地球惑星科学連合2013年大会	2	ガイドブック・ハンドブック.....	8
京都国際地理学会議・・・・・・・・	3	会員消息・・・・・・・・・・	8
第1回国際層序会議・・・・・・・・	5	お詫び・・・・・・・・・・	8

◆日本第四紀学会 2013 年大会案内 (第 1 報)

日本第四紀学会 2013 年大会は、下記の日程で開催予定です。
詳細や発表の申込方法などにつきましては、次号の第四紀通信に掲載いたします。

開催期間：2013 年 8 月 22 日 (木) ～ 8 月 25 日 (日)

開催場所：弘前大学

日 程：

- 8 月 22 日 (木) 一般研究発表 (口頭およびポスター)
- 8 月 23 日 (金) 一般研究発表 (口頭およびポスター)・総会・懇親会
- 8 月 24 日 (土) シンポジウム(「津軽平野の地形地質と縄文遺跡群」を中心とするテーマを検討中)
- 8 月 25 日 (日) 巡検(「津軽の地形地質と縄文遺跡群」(会員向け)を中心に検討中)

◆日本第四紀学会 2012 年学会賞受賞者講演会のお知らせ

期日：2013 年 3 月 3 日 (日) 13:30 ～ 15:15 (参加費無料、申し込み不要)

会場：名古屋大学 環境総合館 1 階 レクチャーホール

(会場詳細は <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/contact/map.html> をご参照ください。)

13:00 ～受付開始

13:30 ～ 13:35 開会挨拶

13:35 ～ 14:15 学会賞受賞者講演：中村俊夫会員

「AMS ¹⁴C 年代が語りかけるもの」

(受賞件名：放射性炭素年代測定の高度化と普及への顕著な貢献)

14:30 ～ 15:10 学会賞受賞者講演：河村善也会員

「私の第四紀哺乳類化石研究－第四紀の哺乳類はおもしろい－」

(受賞件名：東アジアから日本列島における古脊椎動物の時空分布に関する研究)

15:15 閉会

なお、当日、11:00 から幹事会、15:30 から評議員会を開催予定です。

◆日本地球惑星科学連合 2013 年大会のお知らせ

須貝俊彦 (東大)

2013 年 5 月 19 日 (日) ～ 24 日 (金) に千葉県幕張メッセ国際会議場で開催される日本地球惑星科学連合 2013 年大会の発表申し込みが 1 月 10 日に始まりました。

詳細は <http://www.jpogu.org/meeting/> をご覧ください。

主な日程です。

- 1 月 10 日 (木) 投稿・参加登録開始
- 2 月 3 日 (日) 投稿早期締切 (～ 24:00)
- 2 月 15 日 (金) 投稿最終締切 (～ 12:00)
- 3 月 13 日 (水) セッションプログラム (コマ割り) web 公開
- 4 月 10 日 (水) (予定) 発表プログラム web 公開
- 5 月 7 日 (火) 事前参加登録締切 (～ 17:00)
- 5 月 10 日 (金) (予定) 予稿 web 公開

第四紀学会では

- ・H-QR24 ヒト－環境系の時系列ダイナミクスを単独開催します。また、
- ・H-QR23 平野地域の第四紀層序と地質構造
- ・S-SS32 活断層と古地震を共同主催します。

さらに

- ・ H-SC25 人間環境と災害リスク
 - ・ M-IS25 津波堆積物
 - ・ M-IS32 ジオパーク
- を共催いたします。

以下の古環境関連セッションと連携しています。

- ・ A-PE34 古気候・古海洋変動
- ・ A-CC33 氷床・氷河コアと古環境変動
- ・ M-ZZ42 PALEO 研究の最前線とその将来の発展性

申し込みの際に、「口頭講演もしくはポスター講演」または「ポスター講演」のいずれかを選択いただきます。ポスター講演のみを希望される場合以外は、「口頭講演もしくはポスター講演」を選択してください。会員の皆様の積極的な参加を期待しております。

なお、

- 早期投稿：2013年1月10日（木）～2月3日（日） 24:00
 投稿料 ¥1,500/1件（図の掲載 ¥500/1件）
 通常投稿：2013年2月4日（月）～2月15日（金） 12:00
 投稿料 ¥3,000/1件（図の掲載 ¥500/1件）

事前参加登録料（2013年1月10日～5月7日）

<会員>

- 一般全日程：¥11,000、一般一日券：¥6,000
- 小中高教員全日程：¥5,500、小中高教員一日券：¥3,000
- 大学院生全日程：¥5,500、大学院生一日券：¥3,000

<非会員>

- 一般全日程：¥18,000、一般一日券：¥12,000
- 小中高教員全日程：¥11,500、小中高教員一日券：¥8,000
- 大学院生全日程：¥11,500、大学院生一日券：¥8,000

当日参加登録料（2013年5月18日～5月24日）

<会員>

- 一般全日程：¥13,000、一般一日券：¥7,000
- 小中高教員全日程：¥7,000、小中高教員一日券：¥4,000
- 大学院生全日程：¥7,000、大学院生一日券：¥4,000

<非会員>

- 一般全日程：¥20,000、一般一日券：¥13,000
- 小中高教員全日程：¥13,000、小中高教員一日券：¥10,000
- 大学院生全日程：¥13,000、大学院生一日券：¥10,000

となっております。（上記 web 情報）

◆ 2013年京都国際地理学会議参加よびかけ

下記の通り、本年8月に京都国際地理学会議が開催されます。日本第四紀学会も本会議を後援しております。第四紀に関係するセッションも多数ございますので、多くの会員のご参加をお願いいたします。なお、アブストラクト（英文250語以内）投稿締切は2月4日ですのでお急ぎ下さい。

大会ウェブサイト

<http://www.igu-kyoto2013.org/>

主な関連セッション

- C12.02 Arid Lands, Humankind, and Environment
- C12.03 Biogeography and Biodiversity
- C12.04 Climatology
- C12.05 Coastal Systems
- C12.06 Cold Region Environments

C12.09 Environment Evolution
C12.12 Geographical Information Science
C12.16 Geoparks
C12.17 Global Change and Human Mobility
C12.18 Hazard and Risk
C12.19 Health and Environment
C12.21 Indigenous Knowledges and Peoples' Rights
C12.22 Islands
C12.23 Karst
C12.24 Land Degradation and Desertification
C12.25 Landscape Analysis and Landscape Planning
C12.30 Mediterranean Basin
C12.32 Mountain Response to Global Change
C12.40 Water Sustainability

2013年京都国際地理学会議 LOC からのよびかけ

各位

日本における地理学コミュニティを代表し、このたび、2013年8月4日～9日に開催される国際地理学連合（IGU）の京都国際地理学会議への参加を呼びかけますことを、たいへん光栄に思います。

この会議のテーマは、「地球の将来のための伝統智と近代知」です。京都は日本の古都であるとともに、1997年12月に採択された京都議定書との関連で、今日、世界的に知られています。この議定書が生まれたのが国立京都国際会館ですが、われわれは同会館での会議開催を予定しています。この京都国際地理学会議が、世界的な環境問題への取り組みやそれに関する世界的な理解の高まりという点で、この記念すべき会場に新しい歴史を付け加えることを期待しています。

2011年3月11日に発生した地震、さらに、福島原発の事故を含む、その後の未曾有の災害は、日本のみならず全世界を揺さぶり、これを契機として、きわめて多くの人々が、既往の価値、優先事項、生活様式を再検討することになりました。京都国際地理学会議は、この重要な問題をめぐる情報交換、考察、ネットワーク作りのための格好の機会も提供することになります。

●発表投稿（口頭発表・ポスター発表）：

発表者は、2013年2月4日までに、公式 web サイトを通して、発表するセッションを1つ指定して、アブストラクト（250語以内）を投稿していただきます。アブストラクトを投稿する前に、名前、所属、住所などの個人情報登録して、ID（email アドレス）とパスワードを設定します。その際には、登録料を支払う必要はありません。「ENTER THE ABSTRACT SUBMISSION SYSTEM」でも、「REGISTER NOW」でも同じサイトに移動します。

●セッションの種類：

全体セッション：9の基調講演

コミッション・セッション（口頭発表のみ）：40のIGUコミッションがあげた135のテーマ

一般セッション（口頭発表・ポスター発表）：79の地理学的トピックス

ジョイント・セッション（口頭発表のみ）：11の地理学関連主要学協会や研究グループによるテーマ

●重要な日程：

発表アブストラクトの送付締切：2013年2月4日

発表アブストラクトの審査結果の通知：2013年3月31日

プログラムに発表が掲載されるための登録料支払いの締切：2013年4月30日

大会開催：2013年8月4～9日

●会場

京都国際会館（〒606-0001京都市左京区宝ヶ池）

JR京都駅から市営地下鉄烏丸線で約20分、市営地下鉄烏丸線「国際会館駅」下車

<http://www.icckyoto.or.jp/en/index.html>

詳細は、以下の公式 Web サイトをご覧ください（現在、英語ページのみを更新しております）。

<http://www.igu-kyoto2013.org/>

◆第四系とその正式な細分に関するセッションのご案内
The Quaternary System and Its Formal Subdivision

斎藤文紀（産総研）

国際地質科学連合（IUGS）の国際層序委員会（ICS）が中心となり、第1回国際層序会議（STRATI 2013）が2013年7月1～7日にリスボンで開催されます。その会議で、国際層序委員会の第四紀副委員会と INQUA-SACCOM が中心となり、第四系に関する丸1日の特別セッションが設けられます。


- (1) 下部と中部の更新統境界
- (2) 中部と上部の更新統境界
- (3) 完新統の正式細分（下部、中部、上部）
- (4) "Anthropocene"（訳の例：人新世／人新統または人類世／人類統）
- (5) 第四系の更なる細分

講演は、招待講演のみで、一般はポスター発表になります。
申し込みは始まっており、2月末までに、要旨の投稿と受理が行われる予定です。

詳細は、以下の URL をご覧ください。

<http://www.strati2013.org>

多数の参加をお願い致します。



17 July
Lisboa
STRATI 2013
1st INTERNATIONAL CONGRESS ON STRATIGRAPHY

**The Quaternary System
and its Formal Subdivision**
(a full-day special session: Lisbon, 1–7 July, 2013)


Focus of special session:

- (1) Lower–Middle Pleistocene boundary
- (2) Middle–Upper Pleistocene boundary
- (3) formal subdivision of the Holocene
- (4) "Anthropocene"
- (5) fine-scale subdivisions of the Quaternary


Invited talks and concurrent open poster session.

STRATI 2013 website (<http://www.strati2013.org>)
will be accepting abstracts from:
1st January to 28th February 2013.

Conveners: M.J. Head (Chair, SQS), P.L. Gibbard (President, SACOM–INQUA), and T. van Kolfschoten (past Secretary SQS).



ICS Subcommission on
Quaternary Stratigraphy



INQUA-SACCOM

◆日本第四紀学会巡検「古環境変遷と千代川流域流砂系からみる鳥取砂丘の成り立ち」のお知らせ

下記の内容で、第四紀学会巡検を開催いたします。

【日時】2013年4月20日(土)～21日(日)

【集合場所】2013年4月20日(土)13:00 鳥取駅南口(詳細は後日お知らせします)

巡検地域:千代川上流域～鳥取砂丘海岸～鳥取砂丘(2.5万地形図:浦富・鳥取北部・鳥取南部・用瀬・智頭)

【案内者】小玉芳敬(鳥取大)・田村 亨(産総研)

【概要】本巡検では、海岸砂丘らしい景観が広大に残されている鳥取砂丘の発達について現地で検討する。地中レーダによる地下探査とOSL年代測定、岩盤まで掘削された地質ボーリングの結果から、砂丘の成立史、中世以降の砂丘発達と古環境変遷との関係、について解説する。さらに、現地での地形観察と風洞実験の見学を組み合わせ、砂丘地に見られる様々な地形の成り立ちについて考察する。

鳥取砂丘の近年における自然的課題(草原化と海岸侵食)の理解を深めるには、後背流域(千代川流域)からの長期にわたる流砂量変遷に眼を向けることが重要である。本巡検では、千代川流域を観察し、河川における土砂移動や、鳥取砂丘海岸に発達する沿岸砂州の規模や砂浜の粒度組成などが、ダイナミックに変遷している実態を紹介する。さらに、鳥取砂丘の課題を流域流砂系の視点から捉え直し、対策を考える。

【日程】①4月20日(土)13:00～17:00 鳥取砂丘サンドパル・鳥取砂丘

②4月21日(日)9:00鳥取駅<バス移動>16:00頃鳥取駅、17:00頃鳥取空港

*雨天の場合でも決行します。

【参加費】12,000円(懇親会費5,000円を含む)

【事前登録】必要(40名定員、先着順受付)

3月15日(金)までに電子メールで、下記まで連絡してください。連絡をいただいた方々には、**1週間以内**に登録希望を受け付けた旨の返信メールをお送りします。登録希望を送信したのに返信がない場合には、電話等で問い合わせをお願いします。

登録申込&問合先:高田将志(〒630-8506 奈良女子大学・研究院・人文科学系)

mail: takada(at)cc.nara-wu.ac.jp TEL & FAX: 0742-20-3323

【主な交通手段】(2012.12現在)

往 ANA295 羽田空港 11:15 - 鳥取空港 12:35

復 ANA298 鳥取空港 18:00 - 羽田空港 19:15

往 スーパーはくと3号 京都駅 8:52 - 鳥取駅 11:57

復 スーパーはくと12号 鳥取駅 16:54 - 京都駅 20:05

往 スーパーいなば3号 岡山駅 9:14 - 鳥取駅 11:04

復 スーパーいなば8号 鳥取駅 16:21 - 岡山駅 18:11

往復 夜行バス(東京～鳥取、福岡～鳥取)

【宿泊】鳥取市内のホテルをご利用ください(宿泊については、予約手配等、各自で御対応ください)。

4/20夜は鳥取駅周辺で懇親会を予定しております。

◆アウトリーチ活動「彩の国さいたまで自然の歴史を発見しよう」の報告

植木岳雪（産総研）

8月の大会の普及活動を踏まえて、科学研究費補助金（研究成果公開促進費）によるアウトリーチ活動「彩の国さいたまで自然の歴史を発見しよう」を、埼玉県立川の博物館、自然の博物館と共催で11月初旬に開催した。

11月10日（土）には、埼玉県北部・西部の自然を巡る野外観察会が開催された。参加者は11名、講師は5名（産総研 植木岳雪・埼玉県立自然の博物館 楡井 尊・東松山市在住 金井塚良一・早稲田大 久保純子・埼玉県立川の博物館 杉内由佳）であった。午前中は、最初に、東京駅を模した深谷駅のれんがと、かつてれんがを運んでいた廃線跡を観察し、今は深谷に4軒しか残っていない瓦工場で瓦造りの行程を見学した。次に、埼玉（さきたま）古墳群と吉見百穴を訪れ、古墳時代の人間の暮らしに思いをはせた。午後は、飯能で地産地消にとりくんでいる材木店を訪問し、人間川の河床で象の足跡と植物の化石を観察した。参加者は、みな熱心で、活発な質疑応答が出された。

11月11日（日）には、埼玉県立川の博物館において、ミニ講演会が開催された。参加者は約60名であった。午前中は、「身近なものから埼玉の自然を楽しもう（その1）」をテーマとして、「さいたまの自然の楽しみ方」（産総研 植木岳雪）、「古墳の魅力：埼玉古墳群と吉見百穴」（東松山市在住 金井塚良一）、「よりの地域の植物と水」（寄居町在住 高橋重男）、「飯能のエコツーリズム」（飯能市 大野 悟）、「トトロの森に行こう」（トトロのふるさと財団 対馬良一）、「ギャートルズのまんがで氷河時代を探索しよう」をテーマとして、「日



平野さんによる宮沢賢治についての創作話の朗読

本第四紀学会とギャートルズ」（産総研 植木岳雪）、「氷河時代の自然と旧石器人の暮らし」（首都大学東京 出穂雅実）の講演が行われた。午後は、「身近なものから埼玉の自然を楽しもう（その2）」をテーマとして、「中山道はどのような地形を通っているのか？」（群馬大 熊原康博）、「深谷のかわらは利根川の恵み」（小林瓦製造所 小林國章）、「ジオパークって何？」（箱根ジオパーク 青山朋史）、「秩父ジオパークの見どころ」（秩父市 吉田健一）、「埼玉の自然を見直そう」をテーマとして、「今だから知りたい深谷断層」（産総研 水野清秀）、「埼玉にもゾウがいた」（埼玉県立自然の博物館 北川博道）、「大昔、少し昔、今の埼玉の植生」（埼玉県立自然の博物館 楡井 尊）、「縦横無尽に流れていた荒川と利根川」（早稲田大 久保純子）の講演が行われた。また、かつて秩父を訪れた宮沢賢治についての創作話の朗読が女優の平野麻樹子さんによって行われ、埼玉県立深谷第一高校、本庄高校の生徒にによる地元の自然の紹介が行われた。午前、午後の最後には講師と参加者が自由に懇談できる時間が設けられた。園山俊二氏のギャートルズの漫画の原画も展示された。

秋の行楽シーズン、県立高校生のイベントにあたり、盛りだくさんな内容にもかかわらず参加者が少なかったことが残念であった。今後、アウトリーチ活動の広報、実施時期について、慎重に検討する必要があることが明らかになった。来年度の科学研究費（研究成果公開促進費）については、現在申請中であり、採択されれば、青森で同様な普及活動を行う予定である。



小林瓦製造所での瓦造りの見学と小林國章さんによる解説

◆「東四国の自然を楽しむガイドブック」、「彩の国さいたま県北・県西の自然を楽しむハンドブック」がホームページからダウンロードできます

植木岳雪（産総研）

昨年度および今年度に、文部科学省の科学研究費補助金（研究成果公開促進費）によって、徳島県・香川県、埼玉県でアウトリーチ活動が行われた。そして、それらの活動を今後の遺産として残すべく、郷土の自然を解説した一般向けの冊子を発行した。冊子は、今後地元の博物館、大学で活用される予定であるが、数に限りがあるので、学会のホームページからダウンロードできるようにした。児童・生徒・学生・社会人向けの巡検などに、ぜひ使ってほしい。

ダウンロード先：日本第四紀学会ホームページ <http://quaternary.jp/> 出版物案内のページ

★★★ 第四紀通信に情報をお寄せ下さい ★★★

第四紀通信の原稿は随時受け付けております。

広報幹事：兵頭政幸（mhyodo@kobe-u.ac.jp）宛にメールでお送り下さい。

第四紀通信は奇数月月上旬原稿締め切り、偶数月1日刊行予定としていますが、情報の速報性ということから、版下が出来た段階でホームページに掲載するよう努力しています。奇数月15日頃にはホームページにアップするようにしていますのでご利用下さい。

日本第四紀学会広報委員会 神戸大学 内海域環境教育研究センター 兵頭政幸
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 FAX：078-803-5757

広報委員：糸田千鶴 編集書記：岩本容子

日本第四紀学会ホームページ <http://quaternary.jp/> から第四紀通信バックナンバーのPDFファイルをご覧できます。

日本第四紀学会事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル10階
株式会社春恒社 学会事業部内

E-mail：daiyonki@shunkosha.com 電話：03-5291-6231 FAX：03-5291-2176